

令和6年度

事業者のためのごみ減量セミナー等支援業務委託

業務報告書

令和7年3月

アオイ環境株式会社

目 次

第1章 業務概要	1
1.1 件 名	1
1.2 業務の目的	1
1.3 業務内容	1
第2章 業務実施内容	2
2.1.1 業務計画書の作成	2
2.2.1 オンラインセミナーの概要	2
2.2.2 企画検討・登壇者選定	2
2.2.3 告知物作成	3
2.2.4 問い合わせ対応	4
2.2.5 セミナー映像収録・編集	4
2.2.6 セミナー内容	5
2.2.7 実施結果	11
2.2.8 アンケート実施結果	12
2.3.1 施設見学会の概要	14
2.3.2 企画検討・見学施設選定	14
2.3.3 問い合わせ対応	14
2.3.4 当日資料の作成・用意	15
2.3.5 運営支援	16
(1) イベント概要	16
(2) 準備物品	16
(3) 当日工程	17
(4) 実施内容	17
2.3.6 アンケート実施結果	19
第3章 次年度業務内容への提案	25
3.1 開催形態について	25
3.2 テーマについて	25

第1章 業務概要

1.1 件 名

事業者のためのごみ減量セミナー等支援業務委託

1.2 業務の目的

港区内の事業者に「紙ごみや生ごみ等の減量・リサイクル」に不可欠な知識やノウハウを提供し、各事業者のリサイクル意識の向上を図るとともに、自発的な“ごみ減量・リサイクル推進の仕組み作り”をサポートすることを目的とし、「オンラインセミナー」及び「施設見学会」を実施した。

1.3 業務内容

- ・ 業務計画書の作成
- ・ オンラインセミナーの実施
- ・ 施設見学会の実施

第2章 業務実施内容

2.1.1 業務計画書の作成

業務の実施に当たり、事前に作業内容、業務責任者、人員及び作業の完了予定日等を記載した業務実施計画書を作成し、発注者と協議の上、業務開始前に提出した。

2.2.1 オンラインセミナーの概要

発注者と協議の上、表1のようにオンラインセミナー形式で実施した。

表1. オンラインセミナーの概要

タイトル	事業者のためのごみ減量セミナー		
形 式	事前収録した講演/施設見学動画を発注者のホームページ上で一定期間公開		
公開期間	令和7年2月3日(月) ～ 令和7年3月2日(日)		
公開内容	No.	登壇者	動画タイトル
	①	【専門家による講演】 長岡 文明 氏 (BUN 環境課題研修事務所)	廃棄物処理法の基礎知識
	②	【事業者の取り組み紹介と施設見学】 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー	虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー ごみ減量に向けた取り組み
	③	【港区の取り組み紹介】 みなとりサイクル清掃事務所	事業者の責務と区の施策

2.2.2 企画検討・登壇者選定

以下の通り、発注者と打ち合わせを行い、セミナーの企画内容について検討を行った。また、決定した登壇者候補と以下の通り打合せを行い、登壇依頼や趣旨の説明等を行った。

表2. 発注者との打ち合わせ一覧

実施日	内容
令和6年6月14日(金)	・仕様内容の確認 ・今年度のテーマについて ・各動画の内容について ・施設見学会について

表3. 登壇者との打ち合わせ一覧

実施日	打合せ先	内容
令和6年10月16日(水)	長岡 文明 氏	・講演内容について ・撮影方法の確認
令和6年11月29日(金)	虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー	・施設見学 ・動画の構成について ・撮影方法の確認

2.2.3 告知物作成

打ち合わせによって決定した企画、登壇者等について内容を整理したチラシを作成した。なお、チラシには、オンライン形式のセミナーと施設見学会の内容をどちらも記載した。

事業者のための

ごみ減量セミナー

参加費無料!

港区では、ごみ減量・リサイクル推進の仕組み作りのサポートのため、ごみ減量セミナーを開催します!

オンライン講習会では、専門家による講演やごみ減量優良事業者の取り組み事例など、事業者様に役立つ情報をご紹介します。

また、今年度は施設見学会を行います。ご興味のある方は、ぜひ、お申込みの上、ご参加ください。

こんな悩みを持つ方に
おすすめ!

- ・廃棄物処理法の基礎を知りたい方
- ・ごみ減量やリサイクルの事例を知りたい方
- ・食品リサイクルに興味がある方
- ・廃棄物に関する施設を見学してみたい方

申し込み不要 オンライン講習会

配信期間
2025.02.03 (Monday) → 03.02 (Sunday)

配信期間中はいつでも動画をご覧になれます。

配信期間になりましたら下記のQRコードまたは港区ホームページよりご覧ください。

港区 事業者のためのごみ減量セミナー **検索**

<https://www.city.minato.tokyo.jp/umei/kurashii/gomi/daikibo/seminar.html>

動画視聴ページにアクセスできない方は下記の記事欄へ電話またはメールにてお問合せください。

申し込み必要 施設見学会

実施日
2025.02.17 (Monday) → 01.29 (Wednesday)

お申込み締切

見学会に参加を希望する方は、右記のQRコードまたはURLよりお申込みください。

<https://questant.jp/q/V1ICBKT3>

申込多数の場合は、抽選の上、当選した方にご案内のメールをお送りいたします。(2月3日(月)までに送信予定です。)

申し込みページにアクセスできない方は下記の事務局へ電話かメールにてお問い合わせください。

どちらにもご参加いただけます

お問い合わせ先

ごみ減量セミナー事務局：アオイ環境株式会社 (担当：小松、川野)
TEL：03-5444-6855 mail:gomigenryo@aokankyo.co.jp

申し込み不要 オンライン講習会

配信期間
2025.02.03 (Monday) → 03.02 (Sunday)

廃棄物処理法の基礎知識

BUN環境課題研修事務所
長岡 文明 氏

山形県にて廃棄物処理法、廃棄物行政、処理業者への指導に長年従わり、行政内での研修講師も務める。廃棄物に関する豊富な知識と経験を活かして、日本産業廃棄物処理協会センター「産業処理実習会」/「特別管理産業廃棄物処理責任者講習会」のテキスト編集委員など、公的な委員会活動なども数多く担当し、廃棄物に関する啓発活動を行っている。

ごみ減量優良事業者の取り組み紹介

虎ノ門ヒルズビジネスタワー 様

事業者の責務や区の施策について

みなとリサイクル清掃事務所

申し込み必要 施設見学会

実施日
2025.02.17 (Monday)

希望者の方を対象に、バスで移動しながら、各施設を見学します。
※見学会の時間については、当日の状況によって前後する場合がございます。

9:20 品川駅港南口 集合

バイオエナジー(株)城南島工場
食品ごみを電気と都市ガスにリサイクルする過程を見学します。

11:50 昼食・休憩

環境局中防合同庁舎
粗大ごみ破砕処理施設、中防燃焼ごみ処理センター、埋立処分場を見学します。

15:20 品川駅港南口 解散

図1. チラシ

2.2.4 問い合わせ対応

対象事業者へセミナーの開催周知をした後、問い合わせの窓口となり、問い合わせに対する対応を行った。問い合わせは7件あった。問い合わせ内容の一覧は以下の通りである。「動画の視聴ができない」という問い合わせについては、状況を聞き取りしながら、セミナー動画を収録したDVDを送付するなど、個別に対応を行った。

表4. 問い合わせ一覧

カテゴリー	問い合わせ内容	件数
セミナー	動画視聴は必須か	1件
	受講確認はあるか	1件
	動画視聴ができない	2件
その他	廃棄物管理責任者を変更したい	1件
	以前管理していた建物について、現在は管理していない	1件
	主催者は港区か	1件

2.2.5 セミナー映像収録・編集

講演・取り組み紹介の映像収録の実施日や内容について表5に示す。撮影した動画データは、編集の上、発注者に納品した。

表5. 撮影概要一覧

実施日	撮影対象	内容
令和6年 12月9日(月)	長岡 文明 氏	・講演動画撮影
令和6年 12月25日(水)	虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー	・ごみ減量優良事業者の取り組み撮影 ・バックヤード撮影
令和6年 12月25日(水)	みなとりサイクル清掃事務所	・講演動画の音声収録

2.2.6 セミナー内容

(1)【専門家による講演】

動画タイトル：廃棄物処理法の基礎知識

登壇者：長岡 文明 氏



【発表要旨】

廃棄物処理法の基礎知識として、廃棄物の区分や種類、総合判断説などを中心に説明した。

① 廃棄物の区分・種類

- ・物は廃棄物と有価物に分かれ、たいていの場合、人がお金で買ってくれるものが有価物、処理料金を払わないと回収してもらえないものが廃棄物であるが、売り買いの有無だけでは判断できない場合もある。その例として、無料であれば回収してくれる「0円取引」や運搬費用が買い取り価格を上回る「手元マイナス」が挙げられる。
- ・廃棄物は一般廃棄物と産業廃棄物に分類される。一般廃棄物の定義は、「廃棄物であって、産業廃棄物以外の廃棄物」であり、一般廃棄物と産業廃棄物では、処理の許可が異なるため、産業廃棄物の区分を知る必要がある。この区分を知らずに、無許可の処理業者に委託してしまった場合、廃棄物処理法に違反することとなる。この無許可の処理業者に委託する行為は最高刑懲役5年であり、これは不法投棄等と並び廃棄物処理法で最も重い罰則である。
- ・産業廃棄物は「事業活動に伴って」という形容詞がつく廃棄物であるが、事業活動に伴って排出されたものでも一般廃棄物になるものがあり、これを事業系一般廃棄物という。
- ・産業廃棄物は20品目に分類されており、それぞれ処理の許可が異なっている。この内7種類は、指定業種から排出された時のみ産業廃棄物となる。例えば、動物のふん尿は、畜産農業が指定業種となっているため、畜産農業から排出されたふん尿は産業廃棄物となるが、教育学習支援業である動物園から排出されたふん尿は、事業活動を伴っていても産業廃棄物には分類されず、

事業系一般廃棄物となる。

- ・産業廃棄物である動物性残渣の処理の許可を持っていたとしても、スーパーマーケットから出た売れ残りの食品などは一般廃棄物であり、許可が異なるため処理することはできない。
- ・産業廃棄物と特別管理産業廃棄物は全くの別物のため、特別管理産業廃棄物の許可を持っていたとしても、産業廃棄物の処理をすることはできず、それぞれの許可が必要である。
- ・特別一般廃棄物は、PCB・ばいじん・感染性廃棄物・廃水銀であり、特別管理産業廃棄物は、燃え易い廃油、強酸・強アルカリ、感染性廃棄物である。特別産業廃棄物の中には、特定有害産業廃棄物があり、PCB・廃石綿等・廃水銀等・有害金属等を含むものが該当する。

② 総合判断説

- ・不法投棄は、廃棄物処理法の第16条に「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない」と規定されており、不法投棄として判断される要素として、ものが廃棄物であるかどうか大きな判断基準となる。
- ・物が廃棄物であるかどうかはひとつの要素だけで判断することができない。
- ・物が廃棄物であるのか、有価物であるのかは、「物の性状」や「排出の状況」、「通常の手扱い形態」、「取引価値の有無」、「占有者の意思」の5つの要素を総合的に考慮して判断するべきであるとされており、これを総合判断説という。
- ・排出するものが廃棄物であるのか、有価物であるのか判断が付かない場合は、まずは、この5つの要素に照らし合わせて検討する必要がある。自治体の窓口等に相談に行く際は、この検討結果を資料にまとめて持参するのがよい。
- ・日本全国で廃棄物処理法関連で検挙されている人の数は毎年約5,000件である。決して他人事ではないので、ごみの減量化を推進するとともに、適正に処理することが重要である。

（２）【取り組み紹介と施設見学】

動画タイトル：虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー ごみ減量に向けた取り組み

登壇者：虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー



【発表要旨】

森ビル株式会社全体の取り組み及び虎ノ門ヒルズ ビジネスタワーの取り組み、テナント入居者である日鉄ソリューションズ株式会社のごみ分別改善に関する事例を紹介した。また、ごみ保管庫の様子を施設見学映像にて紹介した。

①虎ノ門ヒルズ ビジネスタワーの取り組み

- ・独自の分別ルールを設け、テナント入居者に分別を呼び掛けている。資源循環やごみ分別に対する理解を深めてもらうためにリサイクルハンドブックを製作し配布している。
- ・分別種類に応じたごみ容器や分別シールを用意し、分別方法を分かりやすくしている。
- ・テナント入居者が、排出事業者として、主体的に廃棄物削減を推進できるよう、廃棄物の計量を行い、品目ごとの排出量を把握できるようにしている。
- ・年 1 回開催している環境対策協議会は、全入居者を対象としている。ごみ処理室の見学ツアーや中間処理場の視察を行うこともあり、ごみ減量に対する意識を高めてもらう施策を行っている。
- ・懇親会では、廃棄物に関するクイズを行うなど、廃棄物に興味を持ってもらえるような企画をしている。

② ごみ処理室の紹介

- ・虎ノ門ヒルズ ビジネスタワーでのごみの処理過程は以下の通りである。

【分別】：テナント入居者専有部では、社員一人ひとりが分別を行う。

【回収】：清掃スタッフが回収し、地下のごみ処理室へ運ぶ。

【計量】:品目ごとに計量する。計量済であることを示すラベルをごみ袋に貼り付ける。

【保管】:品目ごとに決まった場所に置いて保管する。

【搬出】:収集運搬業者はラベルの貼ってあるもののみ搬出する。

- ・なお、飲食店舗においては、清掃スタッフではなく、店舗スタッフが自らごみ処理室まで運び、計量を行っている。自ら計量・廃棄してもらうことで、意識の向上に寄与するスキームとしている。
- ・搬出された廃棄物は、中間処理後、最終処分される他、資源に関してはリサイクルしており、リサイクル率の2023年度実績は72.3%である。

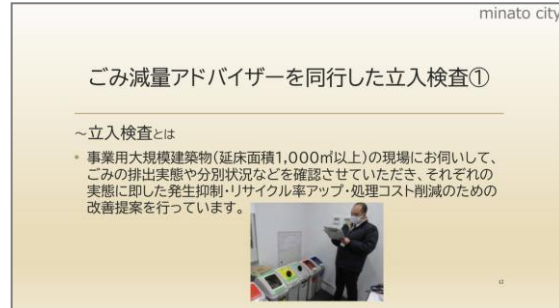
③ 日鉄ソリューションズ株式会社のごみ分別改善に関する事例

- ・廃棄物のリサイクル率が下がったという背景から、資源の効率利用のため、分別を適切に行うことでリサイクル率向上を目指す対策を行った。
- ・対策前の状況として、燃やすごみのなかにリサイクルできる紙類やプラスチックが混在していたことがリサイクル率悪化の主な原因となっていた。その他のごみ箱も適切に分別がされないことや、紙コップを異なる場所に廃棄しているケースなどがあった。
- ・原因として、分別方法が分かりづらいことや分別を意識していない人がいたことなどが挙げられた。また、ごみ廃棄の導線が合っていないのではないかという仮説を立て、改善のために検討を行った。
- ・検討の結果、誰にでも分かりやすいように、捨てて良いもの・悪いものを具体的なピクトグラムで表示し、ごみ箱配置図やごみ分解図、逆引きの分別一覧などを見やすい位置に掲示した他、捨てやすさを考慮した配置に変更した。また、ごみ箱の蓋を撤去し、中に何が廃棄されているのかを見やすくした。併せて、社内に分別状況の悪化と対策を周知し、分別の徹底を呼びかけた。
- ・これらの対策の結果、71.9%であったリサイクル率は84.8%となり、分別状況の改善が見られた。品目ごとの廃棄物の量を把握しより実効性のある対策を立てることや、継続して分別の啓発をすることなどが重要である。

(3) 【取り組み紹介と施設見学】

動画タイトル：事業者の責務と区の施策

登壇者：みなとリサイクル清掃事務所



【発表要旨】

「事業者の責務と区の施策」について、港区の職員より説明をした。

① 港区の地域特性

- ・港区内には、多くの企業オフィス、大規模な繁華街や観光スポットがあり、事業者による活発な都市活動は、地域の活力となっている反面、多量のごみを発生させる要因ともなっている。
- ・清掃工場に搬入された事業系のごみである、持込ごみについて、令和2年度には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う在宅勤務の推進等により排出量は減少したが、その後の経済活動の再開に伴って排出量は年々増加し、港区内の総排出量のうち約6割を占めているため、ごみの減量・資源の再利用が課題となっている。
- ・令和14年度の再利用率について、紙類は72%、厨芥類は25%を目標に掲げているが、令和4年度の実績はそれぞれ54.8%、11.9%であり、目標達成に向けた取組の推進が課題となっている。

② 事業者の責務

- ・「廃棄物処理法」の第3条では、「事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない」と規定しており、区の条例においても、廃棄物の発生抑制や再利用の促進等、廃棄物の減量を図ることが規定されている。
- ・しかし、令和元年度に実施した基礎調査では、「自己処理責任」という言葉を知らなかったと回答した事業者が61.6%にのぼり、廃棄物の適正な処理が事業者の責務として浸透していない

実態がある。

- ・事業者による主体的なごみの処理を徹底するとともに、事業者の意識の向上や行動が求められている。

③ 港区の取組

- ・港区の廃棄物に関する主な取組は以下の通りである。

廃棄物管理責任者の選任や再利用計画書提出の義務付け

ごみ減量アドバイザーを同行した立入検査による排出指導

廃棄物管理責任者講習会の実施

事業者のためのごみ減量セミナーの実施

港区ごみ減量優良事業者等表彰の開催

一般廃棄物管理票(マニフェスト)提出の義務付け

④ 事業者の役割

- ・区の施策を踏まえた事業者の役割として、ごみを出さないビジネススタイルの変革や資源の分別と再利用など、排出者責任の考え方に基づいた適正な処理が求められる。
- ・SDGs を経営の中に取り込むなど、事業者によるごみの発生抑制とリサイクルの推進による、更なるごみの減量と分別の徹底は持続的な企業価値につながる。

2.2.7 実施結果

各動画の再生回数を表6に示す。オンラインセミナーは申込制ではないため、同一人が複数回視聴した可能性を考えると、視聴者数は不明であるが、長岡氏の講演「廃棄物処理法の基礎知識」の再生回数が最も多かった。

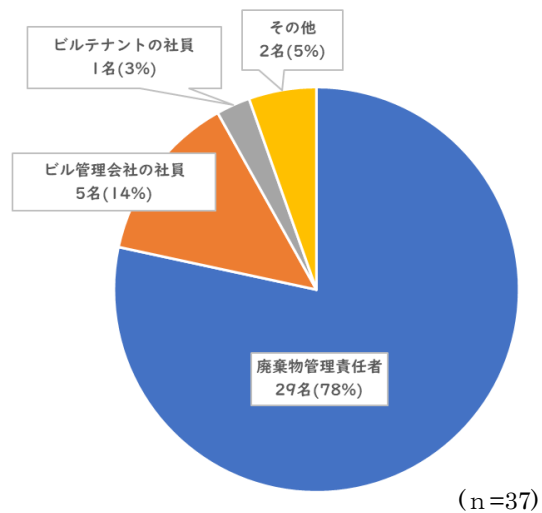
表6. 各動画の再生回数

No.	登壇者	動画タイトル	再生回数
①	【専門家による講演】 長岡 文明 氏	廃棄物処理法の基礎知識	263回
②	【事業者の取り組み紹介と施設見学】 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー	虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー ごみ減量に向けた取り組み	175回
③	【港区の取り組み紹介】 みなとりサイクル清掃事務所	事業者の責務と区の施策	128回

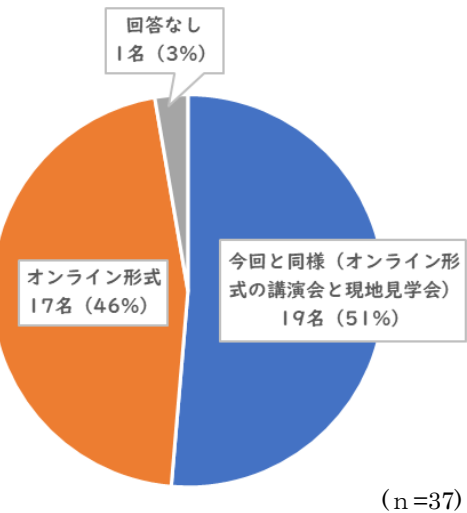
2.2.8 アンケート実施結果

アンケートの回答数は 37 件であった。以下にそれぞれのアンケート結果を示す。

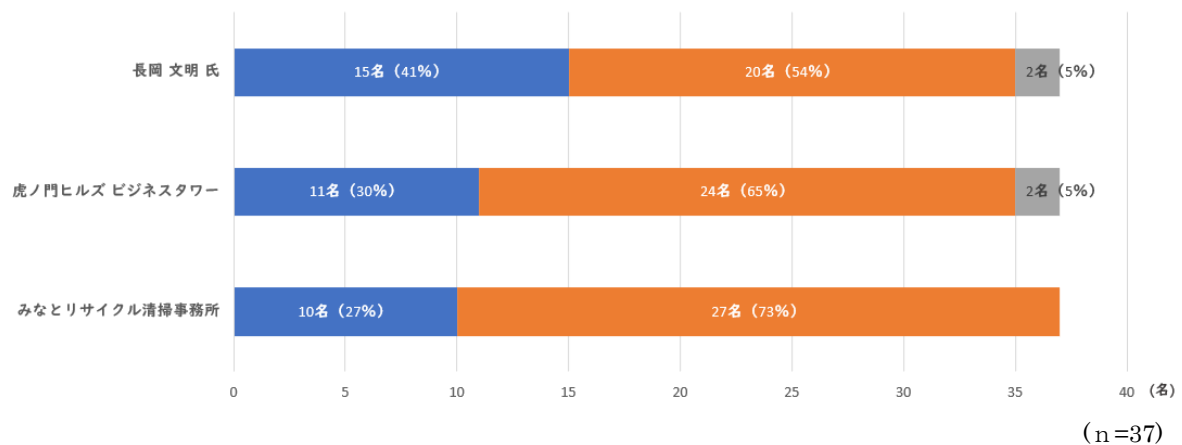
問1 受講者の情報



問2 次年度のセミナー開催形態について

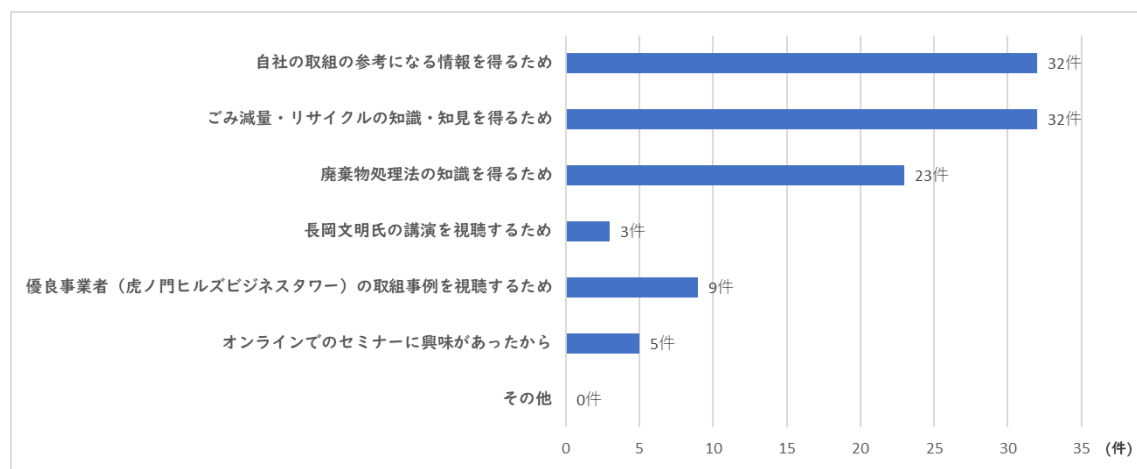


問3 各コンテンツの満足度



	長岡 文明 氏	虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー	みなとリサイクル清掃事務所
■ 大変参考になった	15	11	10
■ 参考になった	20	24	27
■ どちらともいえない	2	2	0
■ あまり参考にならなかった	0	0	0
■ 全く参考にならなかった	0	0	0

問4 セミナーに参加した理由(複数回答可)



問5 今後取り上げて欲しいテーマ、意見・感想

No.	内 容
1	特にありません。
2	ゴミ袋で処理費を支払う形になっているビルなど、いろいろなパターンを知りたい。また、あまりリサイクルが進んでいないところから、ビルとして取り組み改善されたパターンなどがあれば興味深いです。
3	今回と同様他社の分別取り組みについての情報が知りたい。
4	今後も参考となるような各社様の取り組みをご紹介頂きたいです。
5	どれも興味深い内容で勉強させていただきました。このセミナーに協力された企業さま、講師さま、そして港区行政の方へ感謝の意をお伝えします。
6	各項で大変参考になる内容でした。基礎知識については、毎回あると良いと思いました。当方はビル管理会社ですが、お客様へご案内し、見識を深めていただける内容と感じています。
7	長岡文明 氏のセミナーは本当に参考になった。
8	虎ノ門ヒルズビジネスタワーの一か月の段ボール排出量が富士山にまで達するというお話でしたが、仮に2メートルのLコン台車に載せていたとして、1800台。一日60台分排出というのはカートの置場を含めて現実味がないように思いました。 引越し直後にて大量に排出がでたと仮定してもイレギュラーな状態でしょう。お客様に排出量を可視化や連想していただく取り組みは、倣いたいと思います。
9	保育園で出るインクカートリッジの処分などリサイクルに役立つ方法など
10	近隣の再開発で落葉常緑樹が植栽された際の落ち葉の廃棄物処理費用の軽減措置等は行政としてご検討されておりますでしょうか。8年前に虎ノ門病院再開発説明会で質問したことがありますが、当該再開発事業として検討していくとしてそのままございました。 緑化事業促進の裏返しとなりますが、なにかいい手立てがあればご再考されてはと思っています。清掃業務増&処理費用増では近隣事業所としてネガティブな想い払拭できないと思います。
11	基本的な知識として、社内でも広く見てもらいたいと思いました。特に基礎知識編。

2.3.1 施設見学会の概要

発注者と協議の上、表7のように施設見学会を実施した。

表7. 施設見学会の概要

形 式	バスツアーによる施設見学		
実施日	令和7年2月17日(月)		
参加人数	24名		
見学先	①	バイオエナジー(株)城南島工場 (大田区城南島 3-4-4)	・食品リサイクル
	②	環境局中防合同庁舎 (江東区海の森 2-4-76)	・粗大ごみ(中間処理) ・不燃ごみ(中間処理) ・埋め立て処分

2.3.2 企画検討・見学施設選定

発注者と施設見学会の企画内容について電話やメールにて検討を行った。打合せ日時は以下の通りである。また、決定した見学先と電話やメールにて調整を行った。

表8. 発注者との打ち合わせ一覧

実施日	内容
令和7年1月28日(火)	・施設見学会のバス停車場所の検討 ・開催通知の内容の調整 ・当日の運営方法の調整

2.3.3 問い合わせ対応

対象事業者へ施設見学会の開催周知をした後、問い合わせの窓口となり、問い合わせに対する対応を行った。問い合わせは11件あった。問い合わせ内容の一覧は以下の通りである。

表9. 問い合わせ一覧

問い合わせ内容	件数
廃棄物管理責任者以外も対象か	1件
申込フォームが開けない	1件
3名で申し込みたい	1件
施設見学会の当落の確認をしたい	2件
申し込みめきりを過ぎてしまったが、追加で申込は可能か	1件
キャンセルが出たら連絡がほしい	1件
当日の昼食休憩は各自か	2件
見学施設の写真撮影は可能か	1件
施設見学会は雨天決行か	1件

2.3.4 当日資料の作成・用意

(1) 施設見学会当日の進行タイムテーブルの作成

施設見学会当日の発注者と受注者の役割分担が明確にわかる進行表や進行台本を作成した。
なお、内容については、発注者と協議を行い決定した。

(2) 施設見学会当日集合場所の案内表示作成

施設見学会当日の集合場所における案内表示を作成し、受付場所で掲げた。

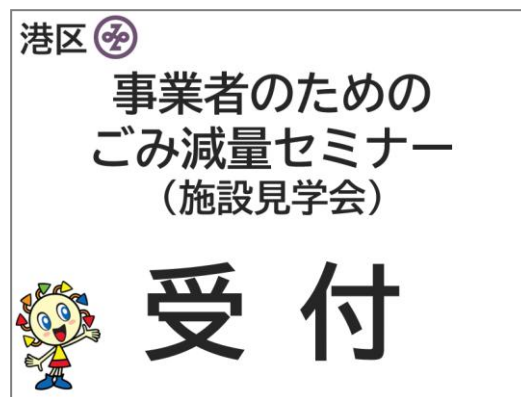


図2．案内表示

(3) 施設見学先配布資料の提出

施設見学先配布資料を事前に取り寄せ、発注者へデータを提出した。なお、参加者には施設見学会当日に資料を配布した。

(4) アンケートの提出

施設見学用アンケートを作成した。内容について発注者と協議の上決定した。アンケートは施設見学当日、受付時に参加者に渡した。

(5) その他

施設見学当日の運営・進行をスムーズに行うための資料として、運営資料を作成した。その他、開催通知を作成し、抽選で決定した参加者に送付した。

2.3.5 運営支援

(1) イベント概要

- ①日 時:令和7年2月 17 日(月)9:20~15:30
- ②集合場所:品川駅港南口交番
- ③参加人数:24 名
- ④配 布 物:ネックストラップ、アンケート、バインダー
- ⑤スタッフ:[港区職員]2名 [アオイ環境(株)]2名

(2) 準備物品

表 10. 準備物品

No.	項目	数量	担当
1	見学先 配布資料	33部	アオイ環境
2	進行資料	3部	
3	案内表示（事業者のためのごみ減量セミナー 受付）	2部	
4	参加者用名札+ストラップ	30個	
5	写真 NG 用ストラップ	10個	
6	マジックペン	1本	
7	アンケート用紙	35枚	
8	アンケート用筆記用具	35本	
9	ごみ袋	3枚	
10	ウェットティッシュ	1個	
11	レーザーポインター	1台	
12	PC	1台	
13	デジカメ	1台	
14	事務局用名札	2個	
15	養生テープ	1個	
16	マスク	10枚	
17	バインダー	30枚	
18	受付セット（名簿、筆記用具）	1セット	港区

(3) 当日工程

表 11. 当日工程

時間	所要	内容
8 : 3 0	3 0 分	スタッフ集合、受付準備
9 : 0 0	2 0 分	受付、バス乗車位置まで移動
9 : 2 0		
9 : 3 0		バス出発
1 0 : 0 0	9 0 分	バイオエナジー(株)城南島工場 見学
1 1 : 3 0		
1 1 : 5 0	6 0 分	昼食休憩 (テレコムセンタービル)
1 2 : 5 0		
1 3 : 1 0	9 0 分	環境局中防合同庁舎 見学 ・講義 20 分 (合同庁舎 10 階) ・見学 60 分 (処分場)
1 4 : 4 0		
1 5 : 2 0		参加者解散
1 5 : 3 0		片付け、撤収

(4) 実施内容

港区内の事業用大規模建築物(1,000 m²以上)の実務担当者及び廃棄物管理責任者等を対象に募集を行い、ごみの減量化やリサイクルの推進につながるよう、実際に廃棄物の中間処理や最終処分の過程を見学する施設見学会を実施した。見学施設の見学可能人数の関係上、定員は30名とした。応募者多数のため、抽選を行った上で参加者を決定したが、当日の参加者は24名であった。

当日は、品川駅港南口交番前に集合し、受付終了後、バスの乗車場所とした東京都中央卸売市場食肉市場前付近に移動し、出発した。

まず、食品リサイクルを行っているバイオエナジー(株)城南島工場を訪問した。会議室で、施設の概要や食品リサイクルの過程について説明を受けた後、施設見学を行った。運び込まれた食品廃棄物が受入ホッパに投入される様子を見ながら、この施設で受け入れが可能な食品や、受け入れ後の破碎や選別についての説明を受けた。参加者からは「食品廃棄物を扱う施設なのに、あまりに思いが気にならない」といった声が挙がり、施設の清潔さに驚いている様子が伺えた。その後、

施設の敷地内を歩きながら、各設備を外から見学した。参加者からは、「食品廃棄物をこの施設に搬入する際は、どのような状態が好ましいのか」や「この施設で食品廃棄物の中間処理を行ったあとはどうなるのか」という質問があった。



図3. 会議室での様子



図4. 受入ホッパでの様子



図5. 各設備の見学

バイオエナジー(株)城南島工場の見学後は、バスで青海臨時駐車場に移動し、各自で昼食休憩とした。午後は、環境局中防合同庁舎を訪問し、最初に合同庁舎内で施設の概要や、廃棄物の埋め立てに関する講義を受けた。埋立処分場を海につくることに莫大な費用が掛かることや埋立処分場の残余年数が少なくなっているため、さらなるごみの減量化を推進する必要があるといった説明があった。講義後はバスに戻り、環境局中防合同庁舎の職員の方のガイドで、粗大ごみ破碎処理施設や不燃ごみ処理センター、新海面処分場などをバス内から見学した。参加者からは、埋立終了後の浸出水の処理の方法や埋め立ての方法についての質問があった。アンケートでは、「埋立処分場に実際見学をし、いかに今後ごみを出さないことが課題か理解が深まった」、「埋立に限界があることを実感した。子供にも現状を伝え、ごみの削減を意識して生活したいと思います」という声が挙げられた。



図6. 講義を受ける様子



図7. 埋立処分場の様子

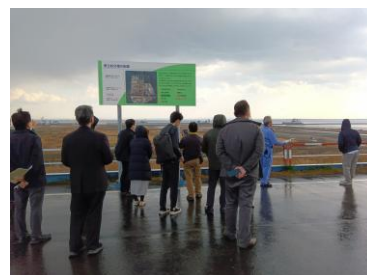


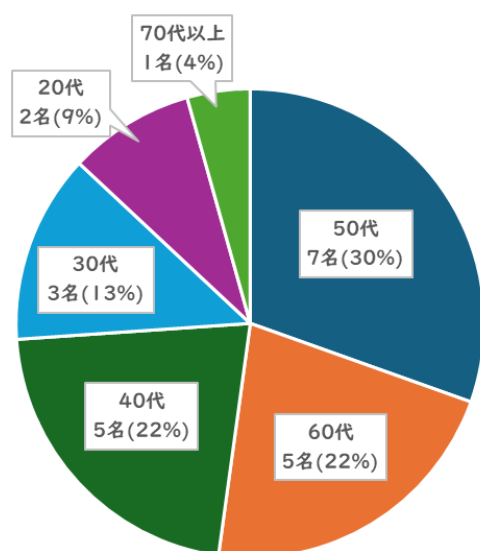
図8. 埋立処分場で説明を受ける様子

環境局中防合同庁舎の見学後は、バスで品川駅港南口付近に戻り、アンケートの記入が終了した参加者から解散した。

2.3.6 アンケート実施結果

アンケートの回答数は、施設見学会参加者24名の内、23名の回答が得られた。以下にそれぞれのアンケート結果を示す。

問1 参加者の年代

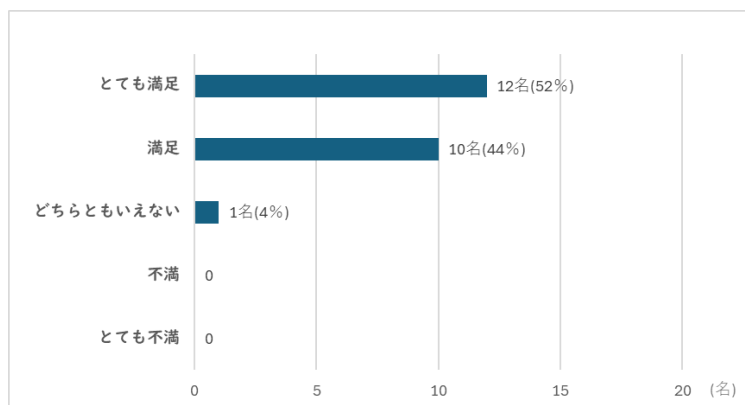


問2 応募理由（自由記述）

No.	内 容
1	日常の業務を行う上で役に立つと思ったから。年間の一般募集でも参加したいと思っていた。
2	・ごみのリサイクルについて知識をふやしたかったから ・事業所のごみを減らしたいと考えたから
3	ビルから搬出した廃棄物が、どのように分別処理されているかの確認の良い機会の為。
4	会社で廃棄物関係の業務をしているため。
5	SDGs推進に向けての知識のインプットの為。
6	廃棄物処理責任者になる前に知る事だと思った
7	環境保全担当業務の一環
8	ごみ処理施設の仕組み・特徴を実物で確認したかった
9	3R 推進の為。当方ビルのテナントさんへの啓蒙活動の参考になればと思い応募しました。
10	毎回、参加をしたいと思っており、今回、日程の調整が可能でしたので、参加させていただきました。
11	部署異動に伴いごみ廃棄管理の担当となったため
12	一度は参加してみたかったのだ。
13	港区の廃棄物責任者を携っており、実際のゴミ処理する過程を知りたかったから。
14	本腰を入れてごみ減量に取り組みたいと考え、アイデアやヒントを求めて応募しました。

15	総務部にて環境担当及び産廃(電子マニフェスト)導入担当として業ムしている為
16	見た事がなかったので応募しました。
17	廃棄物管理責任者として何をすべきか学べる機会を望んでいた
18	みなと清掃事務所様より案内を頂き、興味があったため。
19	先日港区の立入り検査を受けたおり、指導員の方に、施設見学希望を伝えたところ、ご案内いただいたため。
20	一般・産廃廃棄物再利用 メリットの必要性 考学、啓発の為。
21	建物立入検査で、廃棄物処理施設の見学をすすめられたため。
22	よい機会と思い、施設見学に参加したいと思いました。
23	ごみの処理過程について知りたいと思っていた為。

問3-1 バイオエナジー株式会社 城南島工場の見学の感想

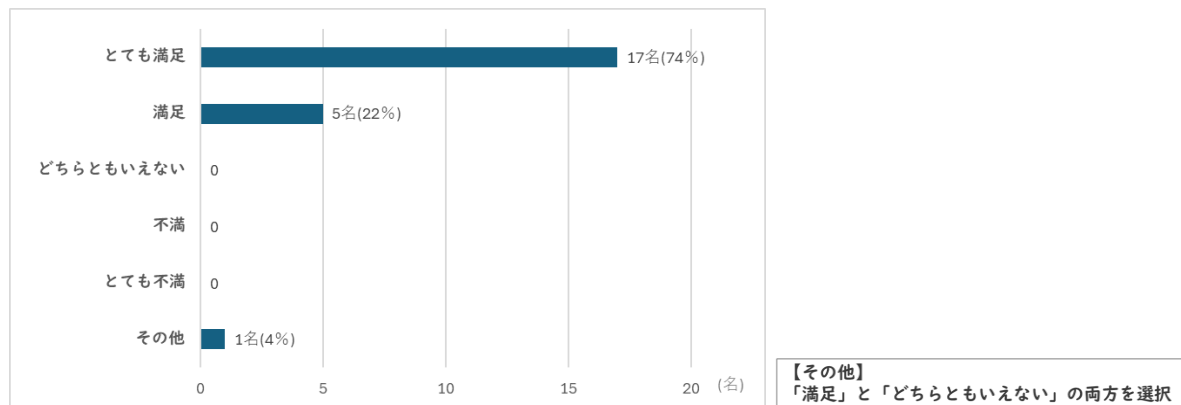


問3-2 感想ごとの回答理由（自由記述）

No.	感想	理由
1	とても満足	普段気にしていない食品ハイキ物の処理を目のあたりにし、今後もムダなく食品を摂取していこうと気づかされた。
2	とても満足	・中間処理場として事業者や産業廃棄物などを受け入れられているが、理想だが、一般家庭もスーパーとかコンビニで購入した物を少しずつでもリサイクルが出来たら良いと思った。
3	とても満足	フードロスの課題が再認識できました。
4	とても満足	バイオエナジー事業について、あまり知らなかったもので、大変勉強になりました。ありがとうございました。
5	とても満足	普段見れない施設、現場が見れたので。
6	とても満足	食品リサイクルで発電、ガス化、(飼料化、肥料化)のメリット・デメリットが今回の説明を受け、大変分かり易かった。 ※工場内の見学は難しいと思うので動画等あれば...
7	とても満足	堆肥化や飼料化以外のリサイクルに関しての取組み実例を見せて頂き、環境配慮全般についての対応策の選択肢が増えました。

8	とても満足	食品廃棄物を電力に変える活動が理解できた。
9	とても満足	ごみ処理プロセス、エネルギー化その後の流れがよくわかりました。
10	とても満足	個別に気兼ねなく質問させて頂き ご説明頂き感謝しております。[売電>都市ガス(2020 年より未稼働理由)(利益ある等)]循環型社会形成推進企業への交付金支給への改善が図れば当該企業側への啓発にもつながると思われます。
11	とても満足	契約等なければ企業施設を見学できることもないので、見学でき良かった。
12	満足	説明がわかりやすかった
13	満足	食品廃棄物なのに、臭気に気を付かっていて工場内も嫌な臭気もなく予想以上にキレイでした。
14	満足	ご丁寧に取り込みの説明をしていただいたので。
15	満足	ゴミのリサイクルといっても、プラスチックなどのみではなく、燃えるゴミがどのようにリサイクルされているのかを知ることができたため。
16	満足	施設の主眼を十分に知ることができた。欲を言えば、各機器の実物をもう少し近くでみたかった
17	満足	ご丁寧な説明で解かりやすくて良かったです。ありがとうございました。
18	満足	ごみの分解工程を目にできるともっと良かったです。
19	満足	とても丁寧で、分かりやすい映像、口頭の説明だった。従業員数、今後の見通し(事業量の増減)20 年前の相定と比較を聞きたかった。
20	満足	廃棄物をエネルギーにかえる仕組、流れがわかりやすく理解できたため。
21	満足	生ごみがエネルギーに変わる仕組をリアルに理解することができた。
22	どちらもいえない	外観のみの見学で物足りなく感じました。動画は分かりやすかったです。結局、発電気で CO2が出るのに地球温暖化対策となるのか、不明でした。

問4-1 埋め立て処分場の見学感想



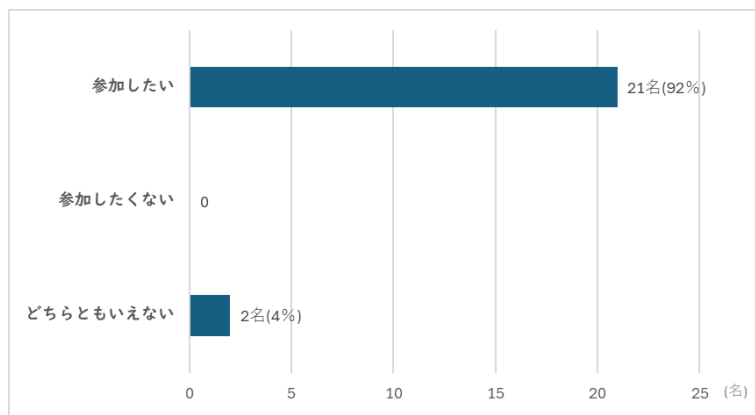
問4-2 感想ごとの回答理由（自由記述）

No.	感 想	理 由
1	とても満足	以前にも来たことがあったが、その時は見て回った。という印象 今回 は見れてよかった！という感想になります。また来たい！と思いました
2	とても満足	実際の埋立地をガイド様つきで巡ることができたため。
3	とても満足	実際の現場を見学できて良かった。
4	とても満足	東京 23 区の最終処分施設、うめ立て地について、よく理解できまし た。ありがとうございました。
5	とても満足	ご丁寧な説明とご担当者の方の●※1に感謝申し上げます。また、施設 のおかげで暮らしやすい生活が送れていることを実感しました。
6	とても満足	処分場が限界なのとごみによる環境への影響を実感した
7	とても満足	こちらも普段見れない施設を見させて頂きました。
8	とても満足	埋立処分場に実際見学をし、いかに今後ごみを出さないことが課題 か理解が深まった。処理解体工場は、上記と同様に動画等あれば良か ったと思う。
9	とても満足	ごみを出さない、少なくしなければいけないとの意識が高まる見学・ 講義でした。
10	とても満足	埋立にまつわる所が良く理解できた。
11	とても満足	分別の大切さを再確認しました。多くの人に見てもらいたいと思いま した。
12	とても満足	映像・資料では理解していたのだが、実際にその場所でまた担当者か ら説明を受けることはまたとない機会となり、今後に生かせる。
13	とても満足	処分場の各施設を実際に見る事が出来て、排出したゴミがどのように 処分されているか、また、実際の処分場のスケールの大きさを感ずる事 が出来て、いい機会になりました。

14	とても満足	熱の入った説明、レアな体験ありがとうございました。自分の出したゴミの一部がここに眠っていると思うと感慨深かったです。
15	とても満足	東京都廃棄物埋立処分場の見学は非常に貴重な体験でした。23 区から 2505ℓ/月ゴミが持ち込まれる実態、埋立て処分場がこれまで対応してきたこと、今後の課題は大変勉強になりました。
16	とても満足	家庭ゴミ、及び最終処分場を見られることなく大変に満足
17	満足	一度行ってみたい場所だったので。もう少し歩いてみたかった。
18	満足	雨の為にゆっくりと見る事が出来なかったのが残念でした。
19	満足	埋立場の原状と課題について理解ができました。
20	満足	雨天が…
21	満足	埋立に限界があることを実感した。子供にも現状を伝え、ごみの削減を意識して生活したいと思います。
22	その他	日頃は立入る事のできない処分場に入れたのはとても良い機会でした。見学コースでの説明は馴れていらっしやって、戸板に水でした。一方で最初のビデオの前、5分間の周回廊下の展示をもっと見たかった。埋立処分に多額のコストが掛っている事は分かったが、それまでの経過を学ぶとより有効性が高まると思いました。

※1 文字が不鮮明なため、読み取ることができなかった。

問5 今後の施設見学会への参加希望



問6 意見・感想・今後見学したい施設（自由記述）

No.	内 容
1	この度はこのような機会をいただきましてありがとうございました。今日見た！聞いた！ことを持ちかえり事業所で共有していきたいと思います。時が経つとつい忘れてしまう、だれかのおかげで身のまわりのキレイが保たれていることを。
2	企画していただきありがとうございました。
3	廃プラのリサイクル等を実施している施設があれば見学したいです。
4	・家庭ゴミ処理場になってしまいますが、有明清掃工場も見学に行きたい。
5	弊社の可燃物が実際に処理される二十三区清掃協議会の処理施設を実地に見てみたい。併せて古紙、PET、缶等の資源物の処理施設を見学してみたい。今日は良い体験をさせて頂きました。有難うございました。
6	職場で得たものを伝えたいと思います
7	本日はありがとうございました。午後の埋立処分場のご説明時のビデオ(DVD)などの貸出はありますでしょうか？今日参加できなかった者を含め、社内で見れるといいと思いました。
8	初めての参加でしたが、とても参考になりました。ゴミの減量、リサイクル等に活かしたいと思います 本日は大変お世話になりました。
9	バスは同じ会社の人は固まってもらうなどした方が良くと思います。
10	拘束時間の短い見学会があれば、又参加したい。午前中のみ、又は、午後のみ等
11	両施設とも大変勉強になりました。紙ゴミのリサイクル施設(OA 紙・ミックスペーパー・茶紙)の分別方法や製造過程が見られたら参加致したいです。
12	排出された産廃について電子マニフェストで確認していますが、実際にどのような処理がなされているのかがわかりづらいです。本当に環境配慮をやろうとする際、この辺りの”事実”が確認できる施設や実例が必要と思います。
13	産廃業者さんやリサイクル業者さんの施設見学
14	リサイクル施設の見学をしたい。(不燃ゴミ→固形燃料など)
15	バス移動中に施設概要等の説明をすれば、見学時間増、または効率的と感じる。貴重な機会ありがとうございました。事前準備から運営までお疲れ様でした。
16	本日はどうもありがとうございました。今後の環境負荷軽減の為に、3R を更に実施していく事が大切だと再認識しました。
17	当方の関連企業(清掃・食堂)の参加も認めていただきたいです。
18	①施設見学会開催は大変有難い企画です。3R に因んだ施設見学会ではマテリアル施設の企画もお願いしたいです。②東京都廃棄物埋立処分場の役割と、埋立施設の抱える課題は、民間に幅広く問題提起と協力を働きかける必要があると考えさせられました。(一個人としても何ができるか考えたいと思います。)
19	色々と御調整いただきましてありがとうございました。

第3章 次年度業務内容への提案

3.1 開催形態について

アンケートの結果から、全回答者の51%(19 名)が次年度以降もオンライン形式と現地見学会の開催を希望していた。昨年度までは、オンライン形式のみの開催だったが、新しい試みである施設見学会に「施設見学会開催は大変有難い企画です」など肯定的な意見が得られた。施設見学会は施設の見学可能人数の関係上、定員を 30 名としたが、定員を超える応募があったため、参加者を抽選で決定した。次年度以降は、多くの人数を受け入れられる見学施設を検討することが考えられる。また、アンケートでは、「拘束時間の短い見学会があれば、又参加したい」という声も挙がったため、午前・午後の 2 部制にして、より多くの人に参加してもらうことも考えられる。

一方で、オンライン形式のみの実施を希望する回答は46%(17 名)であった。次年度以降は、施設見学会の内容を撮影して後日公開することで、オンライン形式で施設見学の様子を見てもらうことができる。なお、施設見学会の抽選に落選した方も動画を視聴できるため、より多くの人に啓発することができる。

3.2 テーマについて

【オンラインセミナー】

昨年度に引き続き、自社の取組の参考にするために視聴している方やごみ減量・リサイクルの知識・知見を得るために視聴している方が多かった。また、廃棄物処理法の知識を得るために視聴したという意見も 23 件あり、新たに取り入れた「廃棄物処理法」の解説に対する期待が高かった。「廃棄物処理法の基礎知識」の視聴回数が最も多く、アンケートでも「長岡文明 氏のセミナーは本当に参考になった」、「基本的な知識として、社内でも広く見てもらいたいと思いました。特に基礎知識編」という意見があり、次年度以降も引き続き廃棄物処理法を解説することが望ましい。

一方で「今後も参考となるような各社様の取り組みをご紹介頂きたいです」、「どれも興味深い内容で勉強させていただきました」というように、すべての動画に対して肯定的な意見や満足度の高さがアンケートで示されたため、今後も、毎年新たな要素を取り入れながらテーマを設定していく必要がある。

なお、今後取り上げて欲しいテーマとして、「保育園で出るインクカートリッジの処分などリサイクルに役立つ方法など」が挙げられたため、事業別に排出されやすい資源にフォーカスしたごみの減量方法やリサイクル方法を紹介する動画を作成することも考えられる。

【施設見学会】

今回の施設見学会では、食品リサイクルの中間処理と最終処分場の見学を実施し、廃棄物の処理に関する一連の流れを見学できる内容とした。次年度以降は、以下の内容がアンケートから得られたため、次年度以降のテーマとして検討することが考えられる。

〈テーマ候補〉

- ・プラスチック、紙ごみ、不燃ごみ、ペットボトル、缶など個別のリサイクルを実施している施設
- ・有明清掃工場など、東京二十三区清掃一部事務組合の処理施設
- ・産業廃棄物を扱っている施設
- ・資源から再生品が作られる施設